

353 ビルクマイヤー博士と奥田義人博士

〔法学新報〕第23卷11(270)号 大正2年12月1日

○ビルクマイエル博士と奥田博士 ビルクマイエル博士の文庫か奥田文庫として中央大学に収められつつあることは既報の通なるか奥田博士はビ氏の好意に対し鄭重なる感謝の意を致したる所過般ビ氏より其挨拶として口絵の裏面に掲けたる如き文意の来信ありたり因に口絵は該書翰の一頁にして「イタリック」を以て楷書とも言ふべき書体にて鮮明に認められたるビ博士の自筆なり